

法人全体(併設校含む)

資金収支計算書

収入の部 (単位:円)			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,862,345,000	1,812,651,000	49,694,000
手数料収入	25,200,000	21,245,200	3,954,800
寄付金収入	0	657,476	△ 657,476
補助金収入	62,604,000	176,196,900	△ 113,592,900
国庫補助金収入	(50,000,000)	(83,843,000)	(△ 33,843,000)
地方公共団体補助金収入	(12,604,000)	(81,520,900)	(△ 68,916,900)
私学財団助成金収入	(0)	(10,833,000)	(△ 10,833,000)
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	304,334,740	268,000,039	36,334,701
受取利息・配当金収入	2,200,000	2,332,786	△ 132,786
雑収入	41,200,000	139,267,341	△ 98,067,341
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,308,450,000	882,715,250	425,734,750
その他の収入	89,666,756	30,658,410	59,008,346
資金収入調整勘定	△ 1,166,270,000	△ 1,115,204,683	△ 51,065,317
前年度繰越支払資金	3,130,872,673	2,919,811,735	211,060,938 A
収入の部合計	5,660,603,169	5,138,331,454	522,271,715
支出の部 (単位:円)			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,337,226,482	1,322,397,684	14,828,798
教育研究経費支出	552,126,675	516,020,112	36,106,563
管理経費支出	729,473,476	632,243,912	97,229,564
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	37,297,000	11,564,685	25,732,315
設備関係支出	82,703,000	47,785,552	34,917,448
資産運用支出	0	10,000	△ 10,000
その他の支出	198,295,440	200,815,442	△ 2,520,002
[予備費]	57,900,000	0	57,900,000
資金支出調整勘定	△ 240,000,000	△ 198,927,724	△ 41,072,276
翌年度繰越支払資金	2,905,581,096	2,606,421,791	299,159,305 B
支出の部合計	5,660,603,169	5,138,331,454	522,271,715



<学校法人会計の特徴(資金収支計算書)>

資金収支計算書とは、その年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容、並びにその年度における支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにするため、資金収支計算を行うものです。現金預金(支払資金といいます)の調達経路やその使い道を明らかにすることで、前年度から繰り越した支払資金が、その年度の教育研究活動によっていくら増減したかを示しています。そのため、その年度の授業料はもちろん、借入金や翌年度の授業料などの前受金を収入とする一方で、人件費や諸経費のほか、借入金の返済や施設・設備関係の支出もその年度の支出として計算します。

<当学園の財務状況>

支払資金は前年度からの繰越支払資金29億1981万円(A)に対し、決算では26億0642万円(B)と3億1338万円減少しております。減少の主な理由としては、短大外壁補修工事が7535万円、新型コロナウイルス感染症対策の特別減免制度などによる前受金収入減が1億9028万円でした。

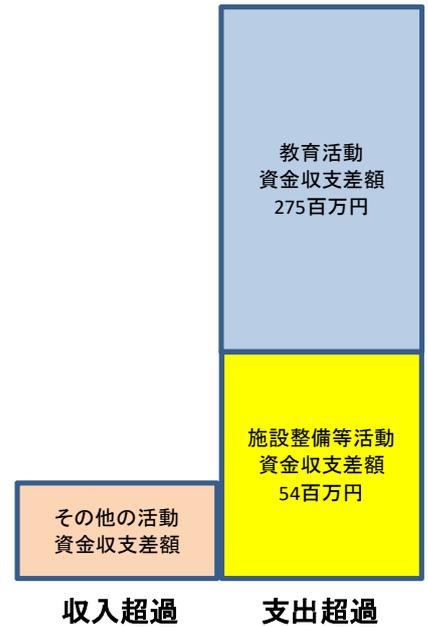
なお、資金収支計算においては固定資産に対する減価償却額は含まれず、実際の支払資金の増減を把握するという意味で事業活動収支計算とは異なります。

法人全体(併設校含む)

活動区別資金収支計算書

(単位:円)

科目		金額	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,812,651,000
		手数料収入	21,245,200
		一般寄付金収入	615,916
		経常費等補助金収入	165,207,900
		付随事業収入収入	268,000,039
		雑収入	139,237,761
		教育活動資金収入計	2,406,957,816
	支出	人件費支出	1,322,397,684
		教育研究経費支出	516,020,112
		管理経費支出	632,219,912
	教育活動資金支出計	2,470,637,708	
	差引	△ 63,679,892	
	調整勘定等	△ 211,465,562	
	教育活動資金収支差額	△ 275,145,454 A	
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備補助金収入	10,989,000
		施設整備等活動資金収入計	11,030,560
	支出	施設関係支出	11,564,685
		設備関係支出	47,785,552
		施設整備等活動資金支出計	59,350,237
		差引	△ 48,319,677
		調整勘定等	△ 5,882,060
	施設整備等活動資金収支差額	△ 54,201,737 B	
	小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 329,347,191	
その他の活動による資金収支	科目		金額
		その他の活動資金収入計	7,200,009
		その他の活動資金支出計	34,000
		差引	7,166,009
		調整勘定等	8,791,238
	その他の活動資金収支差額	15,957,247 C	
	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 313,389,944 D	
	前年度繰越支払資金	2,919,811,735	
	翌年度繰越支払資金	2,606,421,791	



<学校法人会計の特徴(活動区別資金収支計算書)>

活動区別資金収支計算書は、資金収支計算書の決算額を「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」の3つの活動区分に分け、活動区分ごとに資金の増減を把握しようとするものです。

施設・設備の取得・売却に伴う資金収支は「施設整備等活動」に、財務活動や過年度修正に伴う資金収支は「その他の活動」に区分し、それ以外の活動は「教育活動」として区分しており、どの活動区分により資金が増減したのかが表示されます。

<当学園の財務状況>

資金収支の増減を活動区別に見ると、「教育活動による資金収支」が2億7514万円(A)のマイナス、「施設整備等活動による資金収支」が5420万円(B)のマイナス、借入金返済と退職給与等引当特定資産への組み入れにより「その他の活動による資金収支」が1595万円(C)のプラスとなり、結果として3億1338万円の支払資金減(D)となりました。なお、資金収支計算においては固定資産に対する減価償却額は含まれず、実際の支払資金の増減を把握するという意味で事業活動収支計算とは異なります。

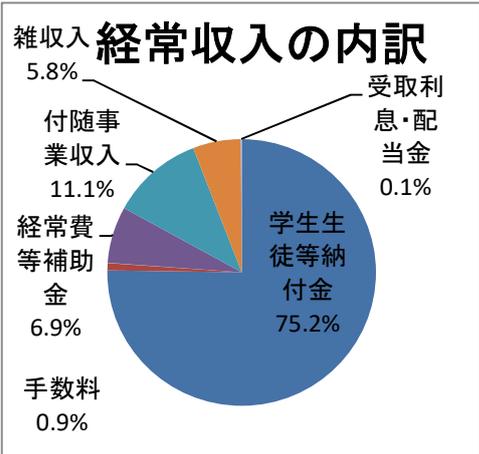
なお、「教育活動による資金収支」は収入と支出の差し引きが6367万円のマイナスであったのに対して、調整勘定等により2億1146万円のマイナスとなったのが大きく影響しています。こちらは、新型コロナウイルス感染症を起因とした、特別減免制度を設けたこと等により、前受金が前年比1億9028万円のマイナスとなったことが要因です。

なお、翌年度入学者からの入金は、翌年の学納金収入として計上されますが、資金としては今年度中に入金されているため、入金された前受金を教育活動による資金収支の「調整勘定等」のプラスとして認識します。一方、今年度の学納金のうち、前年度に入金されていた分は、今年度の学生生徒等納付金収入に計上しますが、入金は前年度ですので、「調整勘定等」のマイナスとして認識します。結果として、前年度と今年度の前受金を比較して、前受金が減少した分だけ「調整勘定等」がマイナスとなり、収支差額がマイナスとなることとなります。

法人全体(併設校含む)

事業活動収支計算書

		事業活動収入の部 (単位:円)			
		科目	予算	決算	差異
教育活動収支	事業活動収入	学生生徒等納付金	1,862,345,000	1,812,651,000	49,694,000
		手数料	25,200,000	21,245,200	3,954,800
		寄付金	0	615,916	△ 615,916
		経常費等補助金	54,604,000	165,207,900	△ 110,603,900
		国庫補助金	(50,000,000)	(82,187,000)	(△ 32,187,000)
		地方公共団体補助金	(4,604,000)	(81,520,900)	(△ 76,916,900)
		私学財団助成金	(0)	(1,500,000)	(△ 1,500,000)
		付随事業収入	304,334,740	268,000,039	36,334,701
		雑収入	41,200,000	139,237,761	△ 98,037,761
		教育活動収入計	2,287,683,740	2,406,957,816	△ 119,274,076
	事業活動支出	人件費	1,354,826,482	1,319,868,742	34,957,740
		教育研究経費	762,550,628	727,329,648	35,220,980
		管理経費	786,444,866	686,436,853	100,008,013
徴収不能額等		0	3,575,787	△ 3,575,787	
教育活動支出計	2,903,821,976	2,737,211,030	166,610,946		
教育活動収支差額		△ 616,138,236	△ 330,253,214	△ 285,885,022	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	2,200,000	2,332,786	△ 132,786
		教育活動外収入計	2,200,000	2,332,786	△ 132,786
	支出	借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額		2,200,000	2,332,786	△ 132,786	
経常収支差額		△ 613,938,236	△ 327,920,428	△ 286,017,808	
特別収支	収入	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	8,000,000	14,308,519	△ 6,308,519
		施設設備補助金	(8,000,000)	(10,989,000)	(△ 2,989,000)
	特別収入計	8,000,000	14,308,519	△ 6,308,519	
	支出	資産処分差額	0	2,187,729	△ 2,187,729
		その他の特別支出	0	57,995	△ 57,995
特別支出計		0	2,245,724	△ 2,245,724	
特別収支差額		8,000,000	12,062,795	△ 4,062,795	
[予備費]		57,900,000	0	57,900,000	
基本金組入前当年度収支差額		△ 663,838,236	△ 315,857,633	△ 347,980,603	
基本金組入額合計		△ 120,000,000	△ 49,801,100	△ 70,198,900	
当年度収支差額		△ 783,838,236	△ 365,658,733	△ 418,179,503	
前年度繰越収支差額		△ 7,350,271,732	△ 7,157,749,494	△ 192,522,238	
基本金取崩額		0	47,091,298	△ 47,091,298	
翌年度繰越収支差額		△ 8,134,109,968	△ 7,476,316,929	△ 657,793,039	
(参考)	事業活動収入計	2,297,883,740	2,423,599,121	△ 125,715,381	
	事業活動支出計	2,961,721,976	2,739,456,754	222,265,222	



「経常収入」＝「教育活動収入」＋「教育活動外収入」
 ※2,406,957,816＋2,332,786＝2,409,290,602
 ※円グラフは、小数点第2位四捨五入

<学校法人会計の特徴(事業活動収支計算書)>

事業活動収支計算書とは、その年度の事業活動収入と事業活動支出の内容及び均衡の状態を明らかにするため、収支計算を行うものです。企業の損益計算書と似ていますが、学校法人の活動を教育活動、教育活動以外の経常的な活動、その他の臨時的な活動の3つに区分し、それぞれの活動区分ごとの収支差額を表示しています。

これにより、経常的な活動(教育活動と教育活動以外の経常的な活動)による収支差額である「経常収支差額」と、臨時的な活動による特別収支差額を加味した「基本金組入前当年度収支差額」を把握することができ、単年度の経常的な活動による収支差額を把握することができます。

また、教育研究に必要な施設設備を永続的に保有できるように、施設設備に支出した金額等を基本金として組み入れ、前年度繰越収支差額に基本金組入後の当年度収支差額を加えたものが、翌年度繰越収支差額として、繰り越されることとなります。

<当学園の財務状況>

事業活動収支(固定資産の減価償却額を含む)は、教育活動による収支差額は3億3025万円のマイナス(A)となりました。また、預金利息等の受け取りにより、教育活動以外の経常的な活動(B)を加味した「経常収支差額」3億2792万円のマイナス(C)となっております。

特別収支においては、固定資産の取得のための施設設備用補助金のほか、現物寄付などがあり、特別収支差額は1206万円のプラス(D)となり、基本金組入前当年度収支差額は3億1585万円のマイナス(E)となっております。

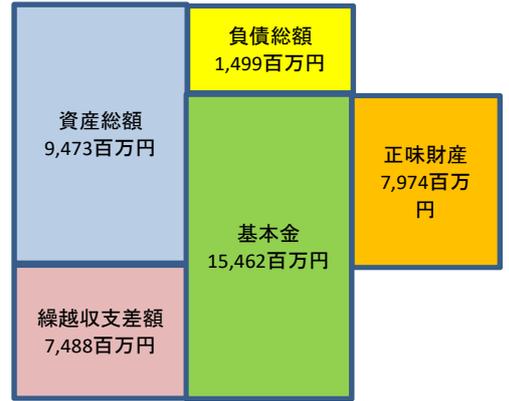
基本金の増減としては、新たに取得した固定資産相当額4980万円を基本金に組入れ(F)ました。また、固定資産の整理による基本金の取崩の結果、翌年度繰越収支差額は3億1856万円減少し、74億7631万円のマイナス(G)となっております。

法人全体(併設校含む)

貸借対照表

(単位:円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	6,762,654,731	6,970,068,614	△ 207,413,883
有形固定資産	(6,365,134,336)	(6,574,651,962)	(△ 209,517,626) A
特定資産	(300,000,000)	(300,000,000)	(0)
その他の固定資産	(97,520,395)	(95,416,652)	(2,103,743)
流動資産	2,710,976,795	2,997,333,647	△ 286,356,852
資産の部合計	9,473,631,526	9,967,402,261	△ 493,770,735 B
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	365,414,196	371,114,945	△ 5,700,749 C
流動負債	1,121,871,010	1,294,083,363	△ 172,212,353 D
負債の部合計	1,487,285,206	1,665,198,308	△ 177,913,102 E
基本金	15,462,663,249	15,459,953,447	2,709,802
繰越収支差額	△ 7,476,316,929	△ 7,157,749,494	△ 318,567,435 F
純資産の部合計	7,986,346,320	8,302,203,953	△ 315,857,633
負債及び純資産の部合計	9,473,631,526	9,967,402,261	△ 493,770,735



財産目録

I. 資産総額	9,473,631,526 円
内 基本財産	6,762,654,731 円
運用財産	2,710,976,795 円
II. 負債総額	1,487,285,206 円
III. 正味財産	7,986,346,320 円

(単位:円)

区分	金額
<資産額>	
1. 基本財産	
土地	2,710,188,945
建物	2,610,612,981
構築物	699,195,050
教育研究用機器備品	103,985,370
図書	210,026,727
その他	428,645,658
2. 運用資産	
現金預金	2,606,421,791
その他	104,555,004
資産総額	9,473,631,526
<負債額>	
1. 固定負債	365,414,196
2. 流動負債	1,121,871,010
負債総額	1,487,285,206
<正味財産>(資産総額 - 負債総額)	7,986,346,320

<学校法人会計の特徴(貸借対照表)>

貸借対照表とは、学校法人の財政状態を示しており、学校法人の資産・負債や、教育研究活動に必要な基本金の金額、法人設立以後の繰越収支差額の合計額などが表示されています。

<当学園の財務状況>

「有形固定資産」は建物等の減価償却により2億951万円減少(A)しており、「現金預金」の減少と合わせて、資産の部としては4億9377万円の減少(B)となりました。

負債の部は、「固定負債」としては570万円の減少(C)。「流動負債」が前受金の減少により1億7221万円減少(D)したことにより、負債の部は1億7791万円の減少(E)となっております。

繰越収支差額は当年度収支差額が3億6565万円の支出超過となったため、基本金の組入・取崩の結果、繰越収支差額は3億1856万円の減少となり、法人設立からの累計は74億7631万円の支出超過(F)となりました。